



落穂会だより

夏季号 2016.7

社会福祉法人 落穂会 障害児入所施設 障害者支援施設 地域生活支援センター 障害者支援施設 障害福祉サービス事業
 あさひが丘学園 (Tel 238-4821) あさひが丘 (Tel 238-4821) あさひが丘 旭福祉センター (Tel 243-1112) 旭福祉センター 第二旭福祉センター (Tel 244-3551) (Tel 244-3551)
 鹿児島市皆与志町2503番地 <http://www.asahigaokagakuen.jp/> <http://www.asahi-center.com/>



あさひが丘学園における小規模グループケアの開始について
 あさひが丘学園 統括施設長 水流 純大

あさひが丘学園で小規模グループケアを実施しようと思ったのは、平成二十三年度の厚生労働省の研究事業「障害児入所施設における小規模ケア化、地域分散化を推進する上での課題に関する調査」に研究委員として参画したことがきっかけです。当時、障害児入所施設においては一部の先駆的な施設を除いては、小規模な形態での生活ケアは行われていませんでしたが、この研究事業を契機として、平成二十四年度から小規模グループケア加算が創設され、報酬上評価されることとなりました。構想段階から丸五年、あさひが丘学園の小規模グループケア施設が完成し、子どもたちの新しい生活が始まりました。

小規模グループケアとは、生活単位を四〜八人の小集団とし、より家庭に近い雰囲気の中で食事・入浴といった基本的な生活を営むとともに、小集団化することにより職員と入所児童が密接な信頼関係を結ぶことで、児童の情緒の安定を図り、児童の健全な成長・発達を促進するものです。当園の小規模グループケアは、各ユニットに八室の個室（入所七室、短期入所一室）とリビングダイニング、浴室、トイレ等を設け、食事や入浴、団らん等は基本的にユニット内で行います。様々な理由から家庭で生活することができない子どもたちにとって、少しでも家庭に近い環境で暮らしを営むことが子どもたちの豊かな成長につながると思っています。

より家庭に近い環境の中で、「ていねいな暮らしを営む」ことを心掛けながら子どもたちの豊かな育ちを支えていきたいと思っています。

新入所者紹介

◆旭福祉センター
 宮田 孝也さん
 みんなと一緒に仲良くお仕事を頑張りたいです。

お風呂もしつかり入ります。竹之内 直也さん
 一日一日を大切に、仕事も遊びも頑張ります。

新通所者紹介

◆障害者支援施設あさひが丘
 池 智史さん
 サインで話をしたり、バスが大好きです。よろしくお願ひします。

岩松 洋輝さん
 毎日楽しく通っています。できることを増やしていきたいです。

伊達 佑騎さん
 市電とシールが大好きです。なかよくしてください。お願ひします。

和田 京平さん
 絵描きや物作りが大好きです。仲間と一緒に作業も頑張りたいです。

永谷 朱史さん
 笑顔で毎日頑張ります。たくさん話しかけて下さい。お願ひします。

地域生活支援センターあさひが丘

山田 葉奈美さん
 いろんな作業が出来るようになってしゅうしょくしたいです。

米澤 佑紀さん
 あすもねの仲間と協力しながら、仕事を一生懸命頑張ります。

◆旭福祉センター
 吉本 雅代さん
 楽しく、笑顔でお仕事を頑張ります。

新任職員紹介

◆あさひが丘学園
 中林 未穂子 支援員
 利用者の皆さんの笑顔が絶えない支援ができるよう頑張ります。

◆障害者支援施設あさひが丘
 安宅 淳一 支援員
 一日でも早く学園の一員として認められるよう頑張ります。

追田 麻由美 支援員
 一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。

安井 良太 支援員
 初心を忘れず、利用者の方が楽しく過ごせるよう支援したいです。

野元 徳彦 支援員

早く慣れ、安心して生活が送れるように頑張りたいと思っています。

古閑 操 支援員
 先輩方から多くの事を学び、利用者の方に安心してもらいたいです。

◆地域生活支援センターあさひが丘
 壽 恵里奈 指導員
 笑顔で元気に頑張ります。よろしくお願ひします。

吉盛 裕介 保育士
 学び成長しながら、子供達のために頑張りたいと思います。

日高 大志郎
 乗馬インストラクター
 鹿児島で初の障害者乗馬をやります。よろしくお願ひします。

◆旭福祉センター
 宮園 和洋 事務長
 福祉業務に携わるのは初めてです。一日一日を大切に、日々の積み重ねが大きな力となると思います。利用者さんの笑顔を糧に努めていきます。よろしくお願ひします。

第63回県美展「ハートフル賞」受賞

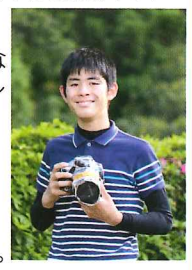
「日頃から、段ボールを使用した作品づくりをおこなっている清隆浩さんが、この度 県美展に出展し130点の応募中から見事、ハートフル賞を受賞しました。」

■受賞したときの気持ちは？
 嬉しかったです。自分も受賞するとは思ってなかったけど、受賞したよと言われてびっくりした。

■表彰式の時は？
 すごく緊張したけど、上手に受け取れた。

■賞状はどうしましたか？
 額縁に入れて持っています。お部屋に飾ります。

■来年も応募しますか？
 もっと難しいバイクとかカメラを作りたい。



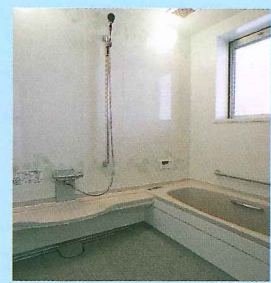
カフェのどか オススメ!

じゃこと梅の冷製パスタ
 カリカリとしたじゃこと梅の食感と、パスターの香ばしいかおりが食欲をそそります。夏の時にぴったりのさっぱりとした爽やかなパスタです。





⑩トイレ



⑩浴室
ゆっくり広々したお風呂です。

1F



⑨洗面所
窓からは、明るい光が差し込みます。登校前の忙しい時間帯も、ゆっくり対応できる広さです。

小規模ユニットケア

平成28年7月より、念願の夢でもあった児童部の小規模グループケアが開始されます。小規模グループケアにおける目的は、家庭を離れて生活している子ども達の豊かな「育ち」を支えるために、愛情を持って丁寧な暮らしが営めるよう支援することです。

小規模ユニットケアでは、今までの大きな集団から小さな集団へ4ユニット（1ユニット、7人の利用者、計28名）の構成、担当職員も固定することで、より家庭的な雰囲気のなかで子ども達と生活を共にします。日々の暮らしの中で、退所後の生活を見据えた一人ひとりに応じたライフスタイルや将来の生活に役立つ社会的なルール、マナー、知識が身に付けられるような支援を目指しています。

新しい生活では、家庭的な雰囲気の中で、自然とお手伝いができる場面や自分たちで食事を作るなど、今までできなかったことを子ども達と一緒にしていきます。これからも子ども達の気持ちに寄り添い子ども達の笑顔や笑い声がたくさんあふれるユニットを目指し取り組んでいきます。（あさひが丘学園 統括主任 宇都 裕也）



①2階 ホール
来客者や子ども達との談話などできるスペースとなっています。

2F



②ユニットC（利用者 7名）
女の子たちのユニットになります。レンジを使ってお菓子を作りたいです。



③2階スタッフルーム
CDユニット職員のスタッフルームになります。



④ユニットD（利用者 7名）
男の子たちのユニットになります。朝ご飯を自分たちで作りたいです。



⑤短期入所のお部屋（2人部屋）
各ユニットにお部屋があります。



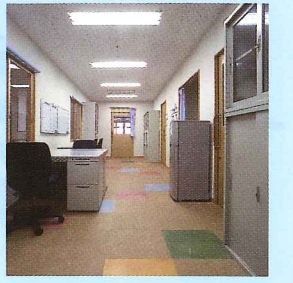
①1階 玄関
子ども達用の玄関になっています。エレベーターもあります。



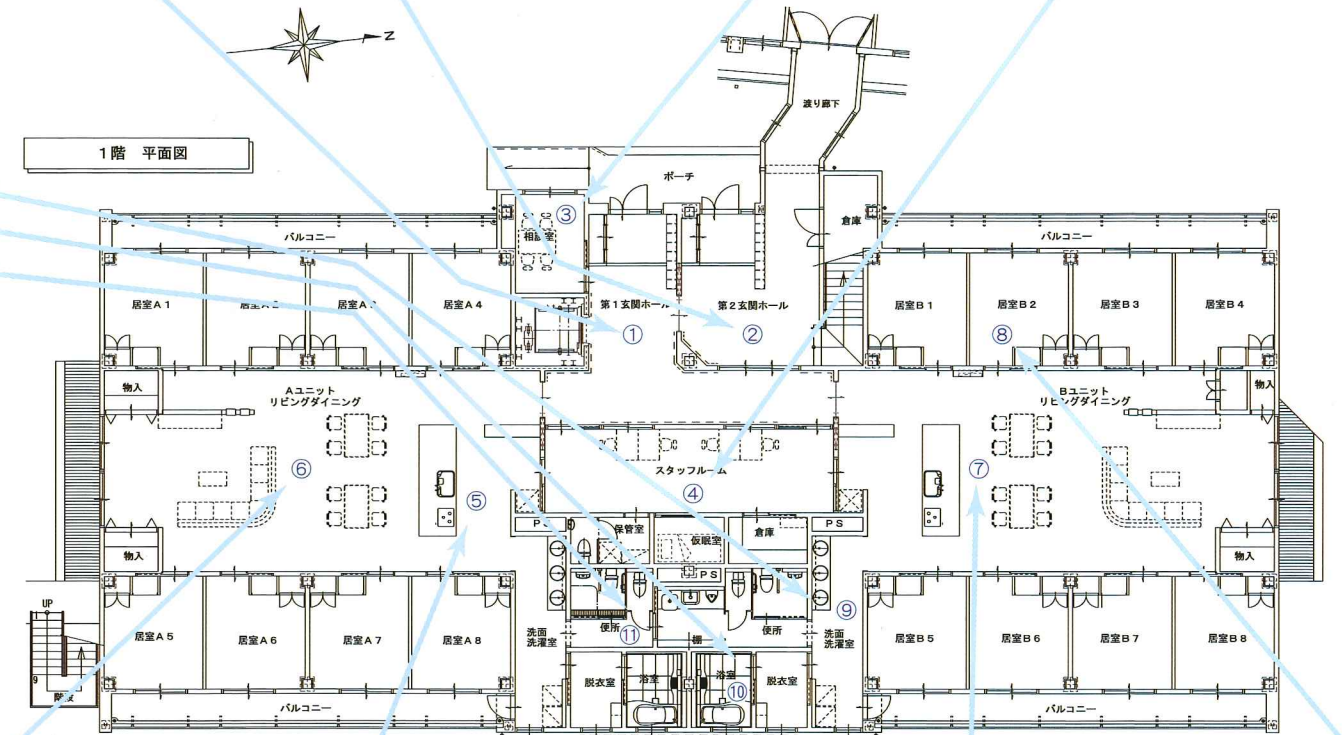
②本体施設へつながる通路
2階を利用する子ども達用の玄関になります。横には、本体施設へつながる廊下になります。



③相談室
相談に来られた方や子ども達と個別に対応できる部屋になっています。



④1階スタッフルーム
A Bユニット職員のスタッフルームになります。



⑤ユニットA（利用者 7名）
女の子たちのユニットになります。各ユニットごとにキッチン色が違います。今後は、自分たちで食事を作っていこうと考えています。

⑦ユニットB（利用者 7名）
男の子たちのユニットになります。今から、ご飯作りが楽しみです。

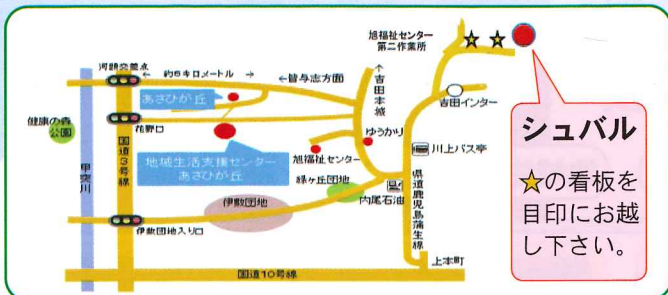


⑥リビング
みんなで食事をしたり、ゆっくりとくつろぐスペースになっています。



⑧子ども達の部屋
それぞれ個室が準備されています。今から、どんな部屋ができるか楽しみです。

あさひが丘乗馬倶楽部シュバルグランドオープン



社会福祉法人 落穂会
 あさひが丘乗馬倶楽部 シュバル
 TEL : 099-294-1266 FAX : 099-294-3311
 住所 : 鹿児島市本名町 1 7 5 5
 Email : cheval @ iaa.itkeeper.ne.jp
 ホームページ : <http://www.asahigaokagakuen.jp/>



ホースセラピーとシュバルについて

英国の養護学校では水泳と乗馬を選択できるほど一般的に受け入れられています。馬に乗ることで身体機能回復になったり、豊かな感情の変化が見られたりといった効果が期待されているためです。また、リハビリ面に限らず、動物とのふれあい、スピード感、今までに経験しなかった高い視野などを味わう楽しみ場面にもなります。

効果としては、次の三つが期待されます。

- 身体的効果
馬が進めば身体は前後・左右・上下にゆれます。この揺れと馬の体温が適度の緊張とリラックスを生み、騎乗者は自然に馬の動きに合わせてバランスをとろうとします。これが脳幹を刺激し、筋肉の発達や血液の循環を助け肺活量も増すなど、健康全般の促進につながります。
- 心理教育的効果
大動物と触れ合いながら今まで体験したことのない高い視野、スピード感を味わい、「馬に乗った」という満足感、「自分の何倍もある大きな馬を操れた」という自信が生まれます。

○社会的効果
馬を介しての人との交流が、人間関係を豊かにする楽しみの場となります。

パートナーとして馬を使うことにより、あらゆるレベルの障害や能力に応じ、ゴールを細かく分けて設定することができます。それにより、騎乗者は自信を持ち、それが動機となって、身体的、精神的能力を伸ばすことができます。(RDA活動のためのガイドブックより抜粋)

平成二十八年六月八日にあさひが丘乗馬倶楽部シュバルはホースセラピー一般乗馬のできる場所としてグランドオープンしました。

あさひが丘の理念である「共生と共創」、誰もが「生まれてきてよかった」と思える共生社会を実現するために、馬のいる環境で「自然と人が集える場所」として発展していけるように取り組んで行きたいと思えます。

(チーフ 大迫 雄介)



四角馬場



丸馬場



ピエナトップガン(サラブレッド)



厩舎内

◆ 行事報告 ◆

○4月2日(土) 花見

旭福祉センターで花見を行ないました。満開の桜の下でお弁当を食べ、思い思いにカラオケや語らいを楽しみました。

○4月9日(土) プロ野球観戦

旭福祉センターでは入所利用者3名、GH利用者3名、通所利用者3名とその家族の方と一緒に野球観戦にかけました。目の前でプロの迫力ある試合をみることができ、みなさんとても満足していました。

○4月17日(日)

落穂会・ゆうかりふれあいバザー

落穂会・ゆうかりふれあいバザーが開催されました。あさひが丘からも花苗や陶芸品などを出店しました。旭福祉センターでは、野菜・花苗・黒カレー・菓子・味噌を販売しました。利用者みなさんは販売の手伝いや、好きなものを購入するなど楽しく過ごしていました。地域の方や保護者の方との交流の場としても活気あるものになりました。ご来場いただきありがとうございました。

○4月23日(土) 知的障害関係親善球技大会

あさひが丘・地域生活支援センターからは、ティーボールに1チーム、グランドゴルフに2チームが参加しました。ティーボールでは予選を突破し、決勝トーナメントに駒を進めましたが、雨天のため試合が中止となり4位という結果でした。グランドゴルフも予定していた2ホール目を回ることができず残念でしたが、来年は上位進出を目指す選手は張り切っていました。また、旭福祉センターでは、通所利用者6名が桜島溶岩グラウンドで行われた親善球技大会のソフトバレーに出場しました。みなさんの応援と選手の頑張りで、1勝することができました。応援ありがとうございました。

○4月29日(金) あさひが丘保護者会総会

地域生活支援センターで行われました。39家族49名の方が参加しました。前年度の事業・決算報告や、その他の報告事項がありました。その後、事業計画説明や「生まれてきてよかった」を支える支援の取り組みなども紹介しました。最後は事業所ごとに別れ、最近の取り組み状況等を説明しました。ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした。

○5月7日(土)

ワークショップあすもねバーベキュー大会

今年度、初めてバーベキュー大会を実施しました。地域生活支援センターの芝生にコンロを設置し、みんなでバーベキューを楽しみました。天候も良く、楽しい時間を過ごすことができました。

○5月14日(土)

第7回鹿児島県知事杯知的障害者フットサル大会

グループホームあさひが丘の入居者でチームを組み、フットサル大会に参加しました。大会はトップリーグ・1部・2部のリーグに分かれ、あさひが丘は1部にエントリーし数年ぶりに予選を突破。決勝トーナメントに進出しましたが、惜しくも準決勝で敗れてしまいました。参加した選手の皆さんは悔しさもあり、来年こそは決

勝進出を目標に頑張ると早くも張り切っていました。旭福祉センターでは、入所利用者7名がふれあいスポーツランドで行われた県知事杯フットサル大会に出場しました。練習の成果を発揮することができ、2年ぶりに優勝することができました。応援ありがとうございました。

○5月14日(土) バーベキュー大会

旭福祉センターでは、作業後にバーベキューを行ないました。ぐずついた天気でしたが、外でおいしいお肉をたくさん食べることができ、みなさん満足していました。

○5月15日(日) 県障害者スポーツ大会

あさひが丘・地域生活支援センターからは、今年は陸上に1名。フライングディスク12名。ボウリング1名の選手がエントリーしました。惜しくもメダルに手が届かなかった選手もいましたが、参加した利用者は皆さん大会を楽しんでいました。旭福祉センターでは、通所利用者が卓球の試合に出場しました。奮闘しましたが、惜しくも入賞はできませんでしたが、大変頑張っていました。

○5月15日(日) 放課後等デイサービス我路保護者会

放課後等デイサービス我路の保護者会に27名の保護者が参加されました。職員紹介やクラス別の活動紹介の後、乗馬倶楽部シュバルとグループホームの見学を行いました。乗馬療法やグループホームの生活の様子など質問も多くあり、保護者からは見学ができて良かったとの意見が多く聞かれました。

○5月18日~20日 宿泊旅行(沖縄)

あさひが丘の今年1回目の宿泊旅行は沖縄に行っていました。初の飛行機に戸惑う方もいましたが、現地ならではの食べ物や観光スポットを楽しむことができました。

○5月20日(金)

児童発達支援(歩路・ガーデンキッズセルク・トリア) 合同保護者会

今年度、最初の児童発達支援合同保護者会があり、47名の保護者が参加しました。今回は、市教育委員会の有田氏に就学相談についての講話をしていただき、保護者から参考になったとの意見が聞かれました。

○5月30日~6月1日 宿泊旅行(東京)

あさひが丘の今年2回目の宿泊旅行は東京でした。ディズニーランドを中心に楽しみました。初めての体験ばかりで、忘れられない思い出が出来ました。

○6月7日(火) ボランティア

今年もノジリ建設さんに草刈り、側溝の土上げをして頂きました。重機がないとなかなかできない作業をして頂き、本当に助かりました。ありがとうございました。

○6月12日(日) 保護者ボランティア

あいにくの天候ではありましたが、保護者21名、職員20名で実施しました。活動作品の下準備や、棟内の汚れ、浴室清掃などに精を出しました。



四
月

五
月

五
月

六
月